

わいわい 通信



ご本人やスタッフ・ご家族による日々の注意と懸命な努力により、法人内のホーム・事業所とも第6波までは、コロナ禍の直撃を受けずに来ました。しかし、12月以降、オミクロン株特有の強い感染力による第7の荒波にもまれました。季節性インフルエンザと同じ5類への変更が予定されていますが、命をあずかる福祉を営む私どもとしては、気を緩めずに臨んでまいります。

お品書き

- グループホーム
- あったかほーむ
- あったか保育室つぼみ
- クラブハウスわらく
- 共生ホームきらく

あんしん なっとく じゅうじつ の生活



NPOの活動報告 (2022年1月~2022年12月)

- 1月22日 南花 新年会 (ひまわり棟)
- 2月 3日 つぼみ (節分豆まき)
- 3月15日 理事会
- 4月2日・3日 彦根城ブルーライトアップ鑑賞
- 5月28日 総会
- 6月 4日 南花 Kさん命日お墓参り (真明寺)
- 7月25日 南花 Yさん四十九日
- 8月20日 Myホーム 野球練習試合 (VSびわこ学園スタッフ)
- 9月 4日 石部南区 夏まつり
- 10月11~12日 すずらん・ましろ 合同ホーム旅行
- 10月15日 あったか 石部宿まつり参画
- 11月15日 つぼみ農園 秋の収穫祭 (親子芋ほり)
- 12月1~2日・7~8日 ホワイトハウス ホーム旅行
- 12月26日 GHわいわい 20周年のつどい

月1回 障がいホームサポート会議、わいわい運営会議、あったか・つぼみ運営会議
隔月 わいわい運営推進会議 (書面)、障がいホーム長会議

わいわい日中ボランティア。
時間：おまかせ。
募集中 月1回でもかまいません。
お話相手、散歩・買い物
などなど。



お問い合わせ NPO法人事務局

TEL 0748-60-2903 FAX 0748-60-2907



「田村一二先生の教えとの再会」

理事長 中川 豊

最近買った本の中に、田村先生の一文を見つけました。

「ぜんざいには、塩がいる」という話です。

「ぜんざいをつくるのには、砂糖がいる、しかし砂糖だけではほんとうにうまいぜんざいはできない。砂糖の逆の塩がいる。砂糖を健常者とする、塩は障がい者、塩はからいから駄目だと鍋の外へ放り出しては、ぜんざいはいできない。塩を抱き込み溶かし込んだ時、このぜんざいは、つまり社会は本物の味になる。」

この情報過多の時代にあって田村先生の味わい深い言葉に巡り会えたことに思わず嬉しくなりました。

皆さんにも、我がNPOの前理事長の師でもある言葉を是非味わっていただきたいと思い掲載させていただきました。



画) 中川 豊

「2022年のあったかほーむいしべ宿」



鹿井 多恵子

今年度も半分以上が過ぎました。2022年、寅年の“あったか”はどんな様子だったでしょう。

“あったか”の春。

3月に石部郵便局の後ろに移転しました。今までより広くなり2階もあります。2階へはエレベーターで移動。エレベーターは子どもの利用者さん達の人気の的。

“あったか”の夏。

今年も暑い夏でした。外で遊ぶのは夕方の涼くなってから。日中は、旧“あったか”で水遊びや、おやつにかき氷を食べて涼みました。ボランティアの方々にマジック・ショーもしていただきました。大人の利用者さん達は「ほー！」という声をあげながら披露されるマジックに見入っておられました。

そして“あったか”の秋。

体を動かし食べ物もおいしい季節です。近くの田んぼで虫や魚をとって遊びました。田んぼ道を歩いていると電車が通るのもよく見えます。玄関で育った芋も大きく育ち、ミニ芋ほりも楽しみました。私はこの春から“あったか”の一員になりましたが、どんな“あったか”の冬になるのかワクワクしています。そしてこれからも春・夏・秋・冬…と絶えることなく季節は巡っていきますが、利用者さん達にとって“あったか”がほっとできる場所でありたいと思います。



「お困りごとを解決したい！」



レッツ野洲 大山 岳男

日頃から電気関係中心にお世話になっております、レッツ野洲の大山です。

当社は野洲市で創業し今年で34年を迎え、家電販売、リフォームなどを手掛ける街の電気屋です。

NPO ワイワイあぼしクラブさんとは約10年前に、当社をご利用頂いているグループホームわいわいのスタッフさんからのご紹介でお仕事させて頂くようになりました。家電品の納入、修理、LAN の配線工事、エアコンのクリーニングなど幅広く取扱いさせて頂いております。

表題の「お困りごとを解決したい」というのは当社のモットーであり常に意識してできる限りのサポートを心掛けています。街の電気屋は家電の取り付けや修理等でお客様のご自宅にお邪魔することも多い特殊な仕事です。ご自宅に何度もお邪魔するとお客様との信頼関係が生まれてきます。電気のこと以外に色々とお困りごとを聞くことがあり、何とか解決したいと思う気持ちから始まりました。

皆さんのお困りごとを当社が少しでも解決させて頂き、ご協力できたらと思っております。これからも全力で対応させて頂きますので宜しくお願い致します。

担当の吉田です。皆さまからのあらゆるご依頼に全力で対応させていただきます。お困りの際は、まずご連絡ください！



「住み慣れたホームで」

安間ますみ

南花でお仕事させていただくことになって 7 年が経とうとしています。24 時間世話人がいるホームということもあり、介護や声かけが必要な住人さんのお手伝いを昼夜 10 人の世話人と共にしています。

歳を重ねていく住人さんの一番の心配事は誤嚥です。咀嚼、飲み込みの衰えにはとても気をつけていますが、この誤嚥がきっかけで癒しの存在だった K さん、Y さんとお別れすることになりました。住み慣れたホームで最期を迎える…理想ではありますが看護師が常勤しないホームでは大変なことでした。退院後、K さんは 2 週間、Y さんは 1 年半過ごして旅立たれました。ご親族、ケアマネジャー他多職種との連携、理事そして日々関わる世話人等多くの方々の理解と二人を思う気持ちによって実現することができたと思います。

とても辛い経験ではありましたが、この貴重な経験を大切に今後も住人さんに寄り添えるホームでありたいと思っています。

またこの度、理事をお受けすることになりました。現場だけでなく違う立場でいろいろ学んでいきたいと思っています。よろしくお願い致します。

グループホームわいわい

～ほっこり・にっこり～

「日常の延長にあるもの」



山本 菜々美

この秋、お二人の入居者様をわいわいでお看取りさせていただきました。

A様は病気の都合により、食事に制限がありました。かかりつけ医から看取り期との診断が下り、ようやく好きなものを食べても良いと許可をもらった矢先、住み慣れたお部屋で旅立たれました。間も無くして、次々と枕元にお供えをするスタッフの姿がありました。食べたかったけれど、食べてほしかったけれど、食べることが叶わなかったお菓子や飲み物。きっと、A様は「おお～！これこれ！」と満面の笑みを見せてくださっていたことでしょう。

B様は夏頃から徐々に食が細くなられていました。亡くなる前日、いつ以来かと思うほどたくさん召し上がられました。奇しくも最後の食事となったメニューはB様がお好きだった魚料理でした。その翌日、いつも通りラジオのかかったお部屋で、大切にされていた人形に囲まれ、静かに旅立たれました。

「看取り」と文字にすると堅いものですが、実際には日常の延長にあるものという気がいたします。先日、ケアマネージャーと受講した在宅看取り推進セミナーでも、講師の方が「生と死は連続性にある」と表現されていました。他のおとしよりにとっても、今日まで同じ時間を共有してきた向こう三軒両隣のような関係です。お部屋まで足を運び、手を合わせられた方、訃報を受けて涙を浮かべられた方、一緒にお見送りをしてくださった方、亡きA様・B様を想う気持ちはひとつでした。

ご縁があって、この時代に、この地域に、このわいわいでご一緒させていただいています。

おとしよりを中心に、ご家族とつながる、多職種とつながる、地域とつながる。普遍的かつ根幹でもある目標です。お一人おひとりに自分らしい暮らし(生き方)を創造していただけるよう、ご本人やご家族とともに考えを深め、日々の関わりでも活かせるように努めてまいります。

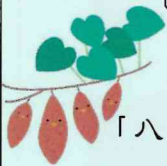




インフォメーション

<コロナ禍を乗り越えて>

「コロナを生きた3年間」という特集記事に「新型コロナウイルスの感染者が国内で確認されて1/15で3年。多くの命が失われ、経済は大きなダメージを受けた。七つの大きな波を経て、感染対策は広まり、生活は変化してきた」とあり、私ども“いのち”を預かる最前線の医療・福祉分野では、日々、目に見えないウイルスと格闘してきました。今も進行中です。／スタッフによる懸命な感染拡大防止対策とご家族・関係者のご理解ご協力により、感染拡大を防ぎ、お住いのお年寄りの皆さんにご不便をかけながらも、安心した生活を送っていただいている「グループホームわいわい」。／「あったかほーむいしべ宿」では、利用児童が学校や家庭由来で感染・濃厚接触となる例が多発しましたが、その都度、休所して所内や遊具を消毒・清拭したり、PCR検査するなど緊急対応し、クラスター化を防ぎました。／障がいのある方のグループホームでは、12月に入り各所で住人さんやスタッフの感染による発症や無症状の陽性が判明し、クラスター化したホームもありましたが、いずれも症状の軽さなどオミクロン株特有の傾向やワクチン接種の効果が現れ、日常生活に戻られました。／これまで、法人全体では、社会の情勢や各人の心情をふまえて対策に強弱をつけ、また、先行事例の情報を提供し、各所で適切な判断と対策が実施されるよう努めてまいりました。現在、政府が感染法上の位置づけを変更（季節性インフルエンザと同じ5類へ）し、就業制限や外出自粛を緩和する動きがありますが、一方では、インフルエンザとの同時流行や外国で急増している新たな変異株への置き換わりなども懸念されています。私どもは、皆さまの“いのち”を守り高めるため、予防と起きた際の「コロナ対策」を徹底し、感染に気をつけながら充実した生活を送っていただく「ウイズコロナ」に、今後とも取り組んでまいります。



「ハンディを抱える人たちと空中栽培」

11月10日「空中栽培・イモ発電」の取組みが、NHKの全国放送「おはよう日本」で紹介された。2014年、近畿大学・鈴木先生の「イモが日本を救う！」の講演を聞いて、すぐさま「こなんイモ・夢づくり協議会」を立ち上げた。

協議会の名前に夢を加えたのは、農業者や技術者、市民や行政職員、障がいのある人や認知症を抱える高齢者等がワイワイと集い、作業をする光景が浮かんだからである。

そして、その年のうちに市民が出来る地球温暖化防止活動として、サツマイモの「空中栽培」に向けた準備を始めた。刈草から出来た腐葉土の中のゴミを、作業所で働く障がいのある人たちがふるいに掛けて取り除く。その土に、農業者や微生物研究所員のアドバイスで、共働事業所のメンバーがチップ堆肥や米ぬか、鶏糞や農業用微生物などを混ぜ込んで行く。

その後、その仕上がった土を、廃棄予定だった肥料袋に詰め込んで行く。そして、その袋をトラックに積み込み、空中栽培を希望された市内の学校や保育所、作業所や介護事業所、企業や市役所、まちづくりセンターや市民団体等に配達して回る。

サツマイモの苗挿しは、特に腰の曲がったおとしよりや認知症を抱える人たちには好評で、「この歳になって、土に触れるとは思わなかった」と喜ばれる。

そして、苗が挿されたその袋は、廃材で作られた3段ほどの棚に並べられる。ところが、このイモの袋には、水やりが必要となる。袋栽培では土の量も限られているからである。この水やりもまた障がいのある人たちの出番で、暑い夏の日であっても黙々と作業を進めてくれる。

6月～10月の5カ月間、こうして愛情を持って育てられたサツマイモは、いよいよ11月に収穫となる。

PS メタンガスの発酵と発電は次号にて。(み)



[NPOワイワイあぼしクラブ 関連事業所の住所・連絡先]

●あったかほーむ いしべ宿 (しゅく)

〒520-3107 湖南省市石部東二丁目1番36号
TEL 0748-77-6723 FAX 0748-64-9065

E-mail: attaka-home-ishibesyuku2022@leto.eonet.ne.jp



●高齢者グループホーム わいわい

〒520-3107 湖南省市石部東七丁目5番25号
TEL/FAX 0748-77-5741

E-mail: gh-waiwai-shiga@gaia.eonet.ne.jp



●障がい者グループホーム すずらんホーム

〒520-3108 湖南省市石部南七丁目9番20号
TEL/FAX 0748-77-4274

E-mail: qpmx33521@nike.eonet.ne.jp



●障がい者グループホーム ホワイトハウス

〒520-3108 湖南省市石部南六丁目9番29号
TEL/FAX 0748-77-3130

E-mail: pskm67097@ares.eonet.ne.jp



●障がい者グループホーム 南花 (さざんか) & ひまわり棟

〒520-3108 湖南省市石部南五丁目4番4号
TEL/FAX 0748-77-4791

E-mail: wac-sazanka@dream.jp



●障がい者グループホーム Myほーむ

〒520-3108 湖南省市石部南五丁目5番36号
TEL/FAX 0748-60-1157

E-mail: vpkv25205@ares.eonet.ne.jp



●障がい者グループホーム ましろ

〒520-3108 湖南省市石部南七丁目8番5号
TEL/FAX 0748-60-2233

E-mail: wac-mashiro@dream.jp



●障がい者グループホーム はいつ

〒520-3105 湖南省市石部西三丁目3番37号



●障がい者グループホーム ころん

〒520-3108 湖南省市石部南八丁目1番24号



●クラブハウスわらく (あぼし相談支援センター・あったか保育室つぼみ)

〒520-3107 湖南省市石部東七丁目3番18号
Tel/Fax 0748-60-6643(相談) Tel Fax 0748-60-4810(つぼみ)

E-mail:(相談) wac-soudan@ares.eonet.ne.jp (つぼみ) tsubomi@dream.jp



●多世代共生ホーム きらく

〒520-3107 湖南省市石部東七丁目3番20号
TEL/FAX 0748-77-5741 (GHわいわい)

E-mail: gh-waiwai-shiga@gaia.eonet.ne.jp



●法人事務局 (ほっと館 2階)

〒520-3107 湖南省市石部東二丁目1番36号
TEL 0748-60-2903/FAX 2907

E-mail: houjin-jimukyoku@dream.jp



〈編集後記〉 わいわい通信を心待ちにしてくださっている皆さまには大変お待たせをいたしました。梅の蕾も膨らみ、日差しに春の訪れを感じる季節となりましたがいかがお過ごしでしょうか。春の足音とともに、いっそうの幸せが訪れますことをお祈りしております。(城)

〈お願い〉 会員の皆さまへ。ひき続き、新規加入者(正会員・賛助会員)のご紹介および、今年度の会費の納入をよろしくお願いたします。